

秋田駒ヶ岳で地質調査を実施

～ヘリコプターに測定器を装着し、上空から調査します～
(概要は別添資料1、2を参照願います)

調査前にヘリコプターと測定機の実物をお見せする報道機関向けの見学会を開催します。(10月6日開催予定)

※開催日は天候により変更する可能性がありますので、取材を希望される報道機関の方は、事前に下記お問い合わせ先までご連絡をお願いします。
(調査の実施状況の画像を提供可能ですので、必要な場合はご連絡願います)

湯沢河川国道事務所HP URL (<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>)

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局、岩手県政記者クラブ

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所

湯沢市関口字上寺沢64-2
電話0183-73-3174 (代表)

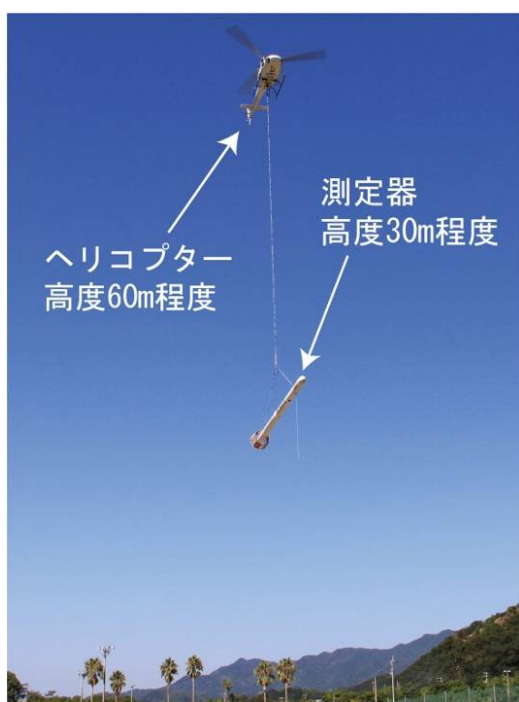
技術副所長 佐藤 徳男 (内線204)

調査第一課長 林 将宏 (内線351)

ヘリコプターによる地質調査のお知らせ

秋田駒ヶ岳山頂付近において、ヘリコプターに測定器を装着し、上空から地質調査を行います。

1. 概要：微量の電磁波（※）を出す測定器をヘリコプターから吊り下げ、約 60m の上空を時速 30 km 程度で飛行します。
2. 範囲：秋田駒ヶ岳山頂付近（秋田県仙北市、岩手県雫石町の一部）
（裏面参照）
3. 予定日：平成 26 年 10 月上旬から概ね 1 か月の内、
1 週間程度を予定しています。
※7時～17時の間に、1日数回、秋田駒ヶ岳の山麓から山頂を飛行します。



ヘリコプターによる調査飛行状況（イメージ）



測定器（長さ 10m、直径 0.5m）

※ 測定器の電磁波

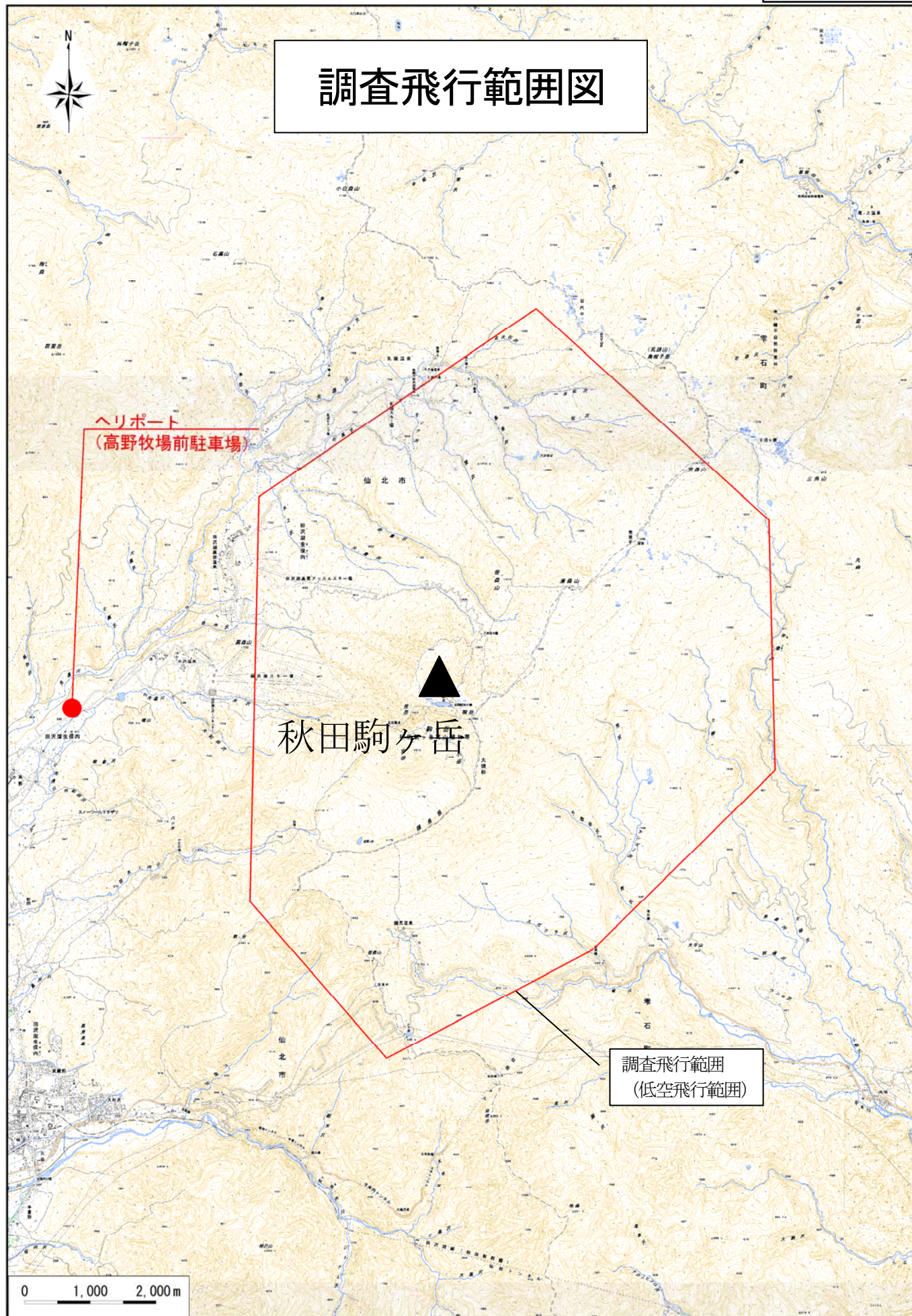
使用する電磁波は通常のテレビから出ている 100 分の 1 の強さで、人、ペースメーカー・テレビ等の電気機器には影響ありません。

4. お問い合わせ先

発注者：国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

電話：0183-73-5544（担当：林・金子）

調査者：八幡平山系（秋田県側）大規模土砂災害危険度調査検討業務 アジア航測・大日本コンサルタント設計共同体 電話：080-5175-1580（担当：内田）



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。
(承認番号 平 26 情復、第 318 号)」